

生え抜き 鎌倉っ子！

新人 29 歳

日向 しんご

ひなた 慎吾

市政に挑戦！
ひなた新聞2号



年齢 29歳

1983年6月9日 鎌倉市腰越に生まれる
※鎌倉市在住29年。現在も更新中！！

経歴

モンタナ幼稚園
腰越小学校(少年野球:腰越Z 主将)
腰越中学校(野球部:市選抜の代表選手に抜擢)
鎌倉高校(野球部:投手)
日本大学文理学部情報システム解析学科
(夜久竹夫研究室:ゼミ長)
卒業後は情報処理システムの知識を生かし、IT企業へ就職。
防犯団体「鎌倉ガーディアンズ(代表大津定博)」メンバー。



父は「腰越Z」で現在監督
(コーチ歴20年)

資格

基本情報技術者・ソフトウェア開発技術者



祖母(宮崎)の実家
地元腰越の寿司懷石「かご家」

みんなで鎌倉を創る時です

私は住んでいる人が「良い」と思う、そんな街が理想だと考えております。
そのためには、住んでいる人の声^①が反映されることが必要です。一人ひとりが思っていることは福祉・育児・教育・防犯・防災など様々な事柄ですが、どれも良くなったら「良い」と思うからこそその声だと思えます。
つまり、市民みんなが声を挙げて街を創ることができれば、より良い鎌倉市になっていくはずですよ。
市民・行政・議会が一体となる街を、率先して創っていきたいと思います。

私たちも
応援しています！



衆議院議員 **あさお 慶一郎**



鎌倉市長 **松尾 たかし**

ひなた慎吾は提案します

①情報の公開
徹底

②市民の声
共有

③市民全員
参画

市民の日常生活と市政の運営とのギャップが存在しないか明らかにするため、情報の公開の徹底と、市民の声に向き合う姿勢を見直すことで、より多くの市民が市政に関わる鎌倉市を目指します。
今回のひなた新聞2号では、「②市民の声の共有」について、お話しします！

②市民の声 共有

市民の声をしっかりと聴くことができる環境を構築し、
私自身も誰よりも声を聴くことができる人を目指します！

私は市民の声が届きにくい環境ではないかと思っており、「もう少し気軽に意見を言えないのか」。さらには、「その意見を市民全員で共有できないのか」と考えております。

一人が日常感じたちょっとした事柄でも、もしかすると他の方も同じことを思っているかもしれません。ふと思った時に、誰でも気軽に声を発信できる。そんな環境があれば、より多くの市民の声を聴くことができるはずです。まずは市民一人ひとりの“声”、それをしっかりと形にすることが今必要です。

そして、その声をみんなで共有する。つまり市民一人ひとりの声を市民全員が確認することができ、賛同する事柄があれば、意思表示(投票)するのです。

そうすれば、賛同が多い事柄が市民が「今、思っていること、やってほしいこと」であり、それを常に市民全員で把握できるようになります。もちろん、すべての事柄を実施し解決することは難しいかもしれませんが、対話を重ね協力し合うことで、市民の声を市民全員で解決する、みんなで創る鎌倉になっていくはずです。

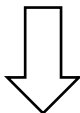
みんなで共有



気軽に発信
賛同



声



いつでも
確認

お聴かせください。あなたの思い

市政や地域のことについて、アンケートを実施しております。あなたの声をお聴きかせください。



URL: <http://enq-maker.com/eMXeVFF>

また、ご意見やご要望がありましたら、お気軽にご連絡してください。

発行:ひなたの杜
事務所:鎌倉市腰越 3-23-7
FAX:0467-32-5889
連絡先:hinata.shingo@gmail.com

【討議資料】



情報発信中！！

フェイスブック:日向慎吾
ツイッター:@HinataShingo

